

2023年3月31日

「道徳性・向社会性」分科会 2022年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表
東北大学 長谷川真里

活動報告

今年度は、以下のシンポジウムを企画、実施した。なお、本シンポジウムは東北大学大学院教育学研究科との共催であった。

シンポジウム題目「アジアから発信する心理学：社会的文脈とコミュニケーション」

企画：長谷川真里（東北大学）・越中康治（宮城教育大学）・齋藤玲（東北大学）

司会：齋藤玲（東北大学）

話題提供：「道徳的誇りの文化差について」

長谷川真里（東北大学）・越中康治（宮城教育大学）

「言語習得における社会的文脈・環境・相互作用の重要性-脳科学的観点から-」

ジョンヒョンジョン（東北大学）

概要：

本シンポジウムでは、人間の発達を文化普遍性と特異性の両面から探る必要があると考えた上で、アジアから発信する国際的な心理学研究の知見の共有を目指す。具体的には、第一部において、企画者らが関わってきた子どもの道徳感情と社会的行動の関係についての日加共同研究の概略と今後の研究の方向性について報告する。第二部は、国際的バックボーンを持つ研究者による、言語習得に関する講演である。脳科学的手法を用いて、言語習得には社会的文脈、社会的相互作用、実生活の経験が重要であることを検証した一連の研究をご報告いただく。

■日時：2022年12月17日（土）13:00-15:00（第1部：道徳的誇りの文化差について

第2部：言語習得における社会的文脈・環境・相互作用の重要性-脳科学的観点から-）

■会場：Zoom オンライン開催

当日は約30人の参加者があり、活発な討論が行われた。

以上